



京都大学 IPCC ウィーク 2019

～複眼的視座から気候変動を考える～

趣意文

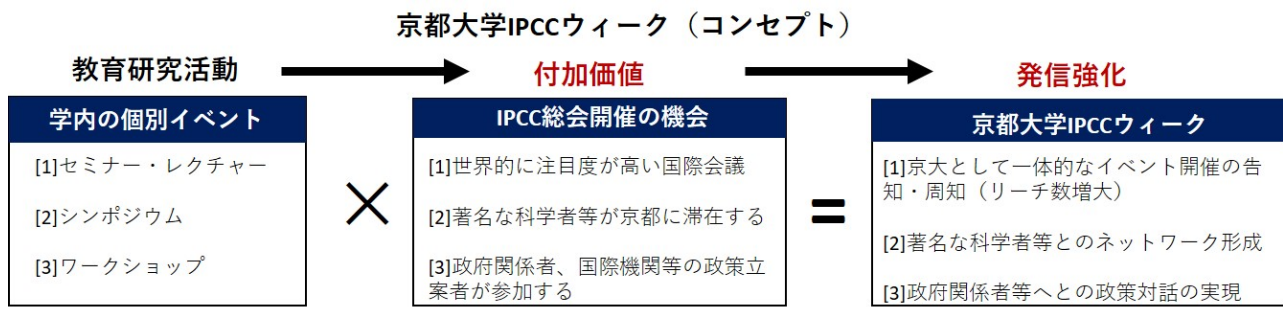
国際戦略本部では、本学の更なる国際化の推進に向けて、中長期的な視野を持って取り組むために、「京都大学の国際化推進基本コンセプト－世界に伍す知の拠点として－」を取りまとめました。その中で、第一の目的は本学の国際的なプレゼンスの向上です。本学の教育研究は国際的に高く評価されている部分もありますが、一方でそれに見合った知名度を獲得しているとは言い難い状況です。人類を取り巻く地球規模の諸課題に対する果敢な挑戦が求められる今日、本学の教育研究活動を広く発信し、地球社会の持続的発展へ貢献していくことが重要です。

2019年5月6日～13日の8日間、「気候変動に関する政府間パネル（IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change）」第49回総会が京都市（国立京都国際会館）で開催されます。世界各国から約500人の科学者や政府関係者が集うこの総会では、「今世紀後半の温室効果ガス実質ゼロ」を目指すパリ協定の取組を推進していくうえで不可欠な温室効果ガス排出量の算定方法に関する報告書（改良版）について議論されます。本総会は世界中の科学者、政府関係者、産業界、メディア、市民の注目を集める格好の機会となることが予想されます。

国際戦略本部と学術研究支援室は、IPCC第49回総会の開催を契機として「**京都大学 IPCC ウィーク 2019**」を計画しております。これは、本学の教職員・学生による実施が見込まれるサイドイベントの企画情報を集約することで一体的に各イベントをつなごうとするもので、これにより、気候変動に関する本学の教育研究活動や研究成果を広く社会へ還元することが可能となります。同時に、2019年5月11日（土）に山極壽一総長と若手研究者による座談会を企画し、本学から持続可能な未来社会へ貢献しようとする高い志と野生的なマインドを有する次世代人材の奨励に努めます。

これにより、学術界、産業界、政府機関、一般市民を含む社会全体が気候変動対策に取り組むための機運を向上させるとともに、対外的な本学のプレゼンス向上を果たすことで、部局の教職員や学生が企画するイベントの効果を最大化する事に貢献します。

本趣旨をお汲みいただき、下記の要領に従って、部局、プロジェクト、個人、学生等が企画実施を予定しているサイドイベント情報についてウェブフォームを通じて回答して頂きますようお願い申し上げます。





1. サイドイベント情報の登録

企画しているサイドイベントについて、イベント形式（セミナー、シンポジウム、ワークショップ）を下記のウェブフォームより平成 31 年 1 月 31 日までにご登録下さい。締め切り日までに開催場所や時間など確定が難しい事項がある場合は、（予定）として記入して下さい。

登録者へは後日、別紙 1: テンプレートに沿って必要項目（サイドイベントタイトル、キャッチコピー、主催者、開催日時・場所、概要等、対象者）を日英でのご準備をお願い致します。提供頂いた情報をもとに「京都大学 IPCC ウィーク」として全てのサイドイベントの広報媒体を作成し、展開いたします。

ウェブフォーム-1 : <https://goo.gl/forms/ZxtipwnA2uV4WU7I3>

2. 総長座談会へ登壇若手研究者の募集（未来を担う若手研究者と地球社会の持続可能な発展に向けた対話）

京都大学 IPCC ウィークのオープニングイベントである山極壽一総長と若手研究者による座談会「未来を担う若手研究者と地球社会の持続可能な発展に向けた対話」（2019 年 5 月 11 日（土））に登壇を希望する若手研究者を募集します。応募資格は本学に在学する修士・博士課程学生及び博士学位取得後 5 年以内の若手研究者を目安とします。下記のウェブフォームより平成 31 年 1 月 31 日まで申し込み下さい。

ウェブフォーム-2 : <https://goo.gl/forms/rr5ldnBY7S7G5CAD3>

3. その他ご意見の募集

京都大学 IPCC ウィークの企画に関してご意見等もございましたら、ウェブフォームで受け付けております。

4. サイドイベント企画への支援内容

京都大学のサイドイベント企画者へは以下の支援をします。ただし、本部としては主催する部局、教職員、学生の主体性や独自性を尊重するため、要請がない限りサイドイベント自体の企画・運営には関与いたしません。

- ① サイドイベント告知・周知の支援（京都大学 IPCC ウィーク 2019 として、チラシ作成、京大ホームページ掲載、SNS、プレスリリース、本部執行部による記者発表等。広報媒体は 2019 年 3 月下旬頃完成予定）
- ② 若手研究者の奨励機会や学内ネットワーク形成の支援（総長座談会、若手研究者奨励策の検討）
- ③ 産業界、省庁関係者等からの問い合わせ対応およびマッチング支援
- ④ サイドイベント成果発信の支援・活動実績の公開（京都大学 IPCC ウィーク 2019 の成果報告ホームページ（事後）掲載、報告記事の作成（日英）等）

5. サイドイベント成功のポイント

IPCC 総会開催の機会を最大限活用して、皆様が企画されるサイドイベントにさらなる付加価値を創出するための参考情報の一例をお示します。

* 一般向けイベント向け参考ツール集： 全国地球温暖化防止活動推進センター JCCCA で提供する貸出ツール
<http://www.jccca.org/tool/>

IPCC 総会の開催期間中（2019 年 5 月 6 日～13 日（8 日間））は世界中の国際機関の科学者、政府関係者が京都に集まります。特に気候変動対策分野の著名な科学者や、今後の政策決定等に影響力を有する政府関係



京都大学
IPCC
ウィーク

Kyoto University
IPCC Week
2019

者、また気候変動対策を地域・社会の現場で実践する NGO 関係者等のキーパーソンが数多く集まる事が予想されます。学会や政府関係者からの情報をいち早くキャッチして、サイドイベント参加協力（基調講演、開会挨拶、大学訪問・研究室訪問、記念撮影など）を得ることが重要なポイントです。

また、日本政府の関係省庁（環境省、経産省、文科省、農水省、国交省等）においても、IPCC 報告書（改良版）に基づき 2020 年度以降の政策立案・制度設計や概算要求を進める事が予想されます。加えて、産業界においても温室効果ガス実質ゼロに向けたイノベーションが要請されることが考えられます。このような状況を見据えて、企画するサイドイベント（特にシンポジウムやワークショップ）へ政府関係機関、産業界から実務担当者の参加協力を得て、気候変動対策に向けた解決策や学術・研究面からの貢献の可能性について議論する事が、新たな産官学連携の取組を創発するうえで重要なポイントであると考えられます。

6. 問い合わせ先

日本語：学術研究支援室（園部、仲野、神野）075-753-5179, 5740, 5737

English/ International Strategy Office (Sanori) 075-753-5044

共通：E-mail: ipcc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Web-site: <https://sites.google.com/kura.kyoto-u.ac.jp/ku-ipccweek/home>